

トラック輸送情報（平成20年5月分）

平成20年8月22日

国土交通省 総合政策局 情報管理部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：桑原、佐藤 内線28722

直通：03-5253-8346

ホームページ：<http://toukei.mlit.go.jp/>

1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

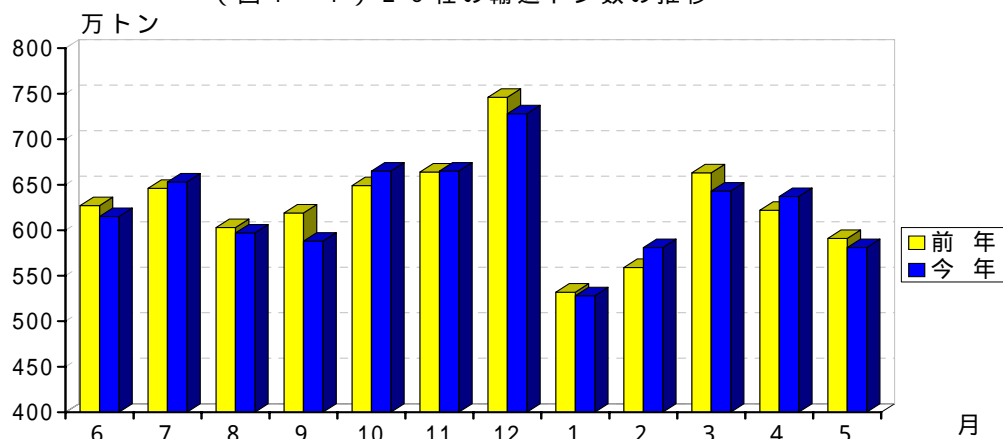
調査対象26社の本月の輸送量は、5,811,690トンで、前月と比べ総輸送量が約56万トン減少したため、前月比91.2%（季節調整済み102.6%）となり、前年同月との比較では、約10万トン減少したため、前年同月比98.3%の実績であった。

なお、平均稼働日数は23.3日で、前月と比べ0.9日の減少、前年同月と比べ0.1日の減少であった。稼働1日当たりの輸送量は、249,429トンで、前月と比べ約1万4千トン減少したため、前月比94.7%となり、前年同月との比較では、約3千トン減少したため、前年同月比98.7%の実績であった。

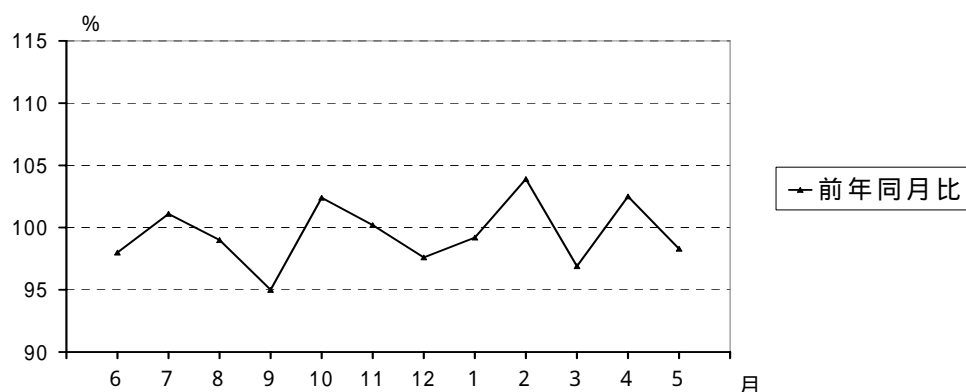
（図1-1、図1-2参照）

注）平成20年4月から貨物輸送の調査対象については、従来対象としていた7社の合併により26社となった。

（図1-1）26社の輸送トン数の推移



（図1-2）26社の輸送トン数の前年同月比



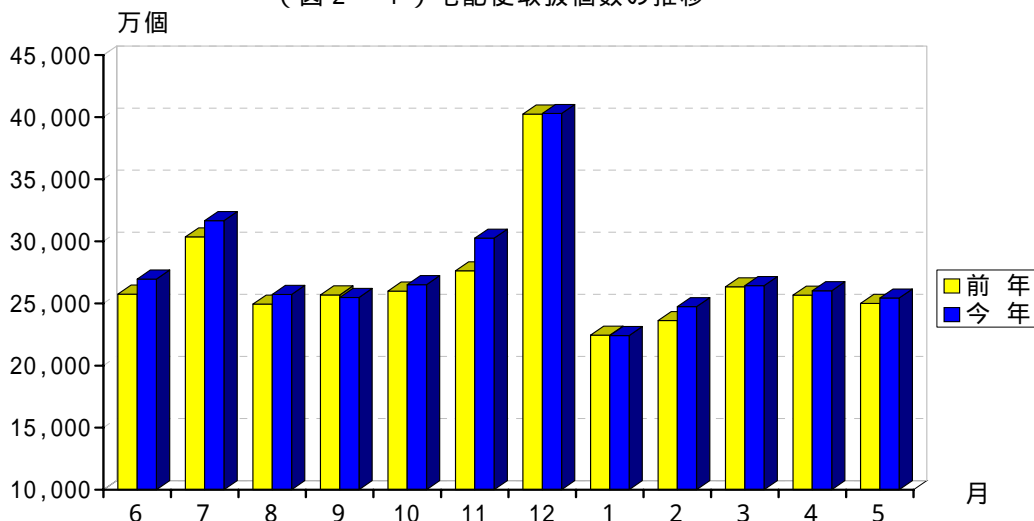
(2) 宅配便の概況

調査対象 20 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、254,397 千個で、前月と比べ 約 581 万個減少したため、前月比 97.8% (季節調整済み 103.5%) となり、前年同月との比較では、約 441 万個増加したため、前年同月比 101.8%の実績であった。

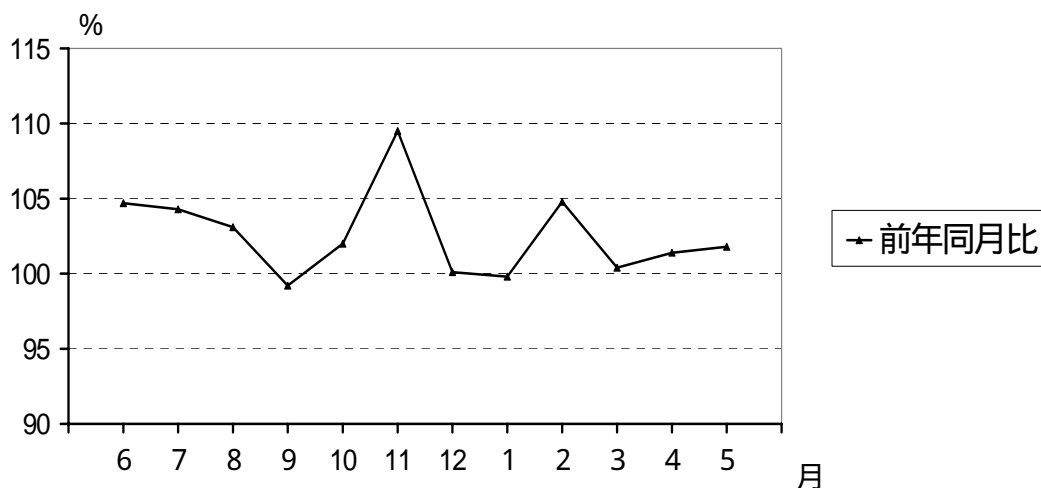
(図2 - 1、図2 - 2 参照)

注) 平成 20 年 4 月から宅配便輸送については調査対象が 1 社増え、20 社となった。
対前年同月比並びに対前月比は、20 社ベースで比較している。

(図2 - 1) 宅配便取扱個数の推移



(図2 - 2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 26 社の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、大型連休に伴って平均稼働日数が減少したこと等により、輸送量が減少した。品目別では、すべての品目で減少がみられた。減少要因としては、工場・生産地からの貨物減がすべての品目に共通してみられたほか、「金属製品」、「化学工業品」及び「食料工業品」では倉庫から出る貨物減及び季節的需要減が、「日用品」及び「その他(宅配便)」では商社・問屋からの貨物減が減少要因となっている。地域的には、「農水産品」及び「その他(宅配便)」が主に東北、関東地方で、それ以外の品目はほぼ全国的に減少した。

前年同月と比べると、一部、増加が目立った品目もあるものの、ほぼすべての品目で輸送量が減少した。工場・生産地からの貨物減が主な減少要因となっており、「農水産品」及び「金属製品」が中国で、「化学工業品」が関東地方、愛知、中国で、「食料工業品」及び「日用品」がほぼ全国で、「その他(宅配便)」が東北、関東地方でそれぞれ減少した。

(表1) 品目別増減状況(回答事業者数 26社)

品目	増減事業者数				主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	増減要因		
	著増	増	変らず	減					
前 月 に 比 べ て	農水産品	2		12	5	青果物			
						野菜	東北、関東、近畿		
	金属製品			12	8	1	その他の金属製品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方	4, 7, 8
							その他の機械、機械部品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、大阪、近畿、中国	4, 10
	機械			13	6	2			
	化学工業品			11	11	1	合成樹脂、その他の化学工業品	東北、関東地方、北陸信越、中部、近畿地方、中国、福岡	4, 7, 8
							織物	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4
	繊維工業品			15	8				
	食料工業品			8	10	3	飲料、その他の食料工業品、加工食品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、福岡	4, 7, 8
						書籍・印刷物、その他の日用品	全国	4, 5, 7, 10	
日用品			8	13	2				
その他	1	1	9	10	1	宅配便	東北、関東地方	4, 5	
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品		1	14	2	2	野菜、青果物	中国	4
							その他の金属製品	中国	4
	金属製品		1	16	3	1	機械部品		7
	機械	2	3	14	2				
							その他の化学工業品	関東地方、愛知、中国	4, 9
	化学工業品		1	16	6	1			
	繊維工業品		2	19	2				
							飲料、加工食品	東京、神奈川、北陸信越、愛知、大阪、近畿、中国、四国、福岡	4, 7, 9
	食料工業品		1	13	5	2			
日用品	1	1	9	9	2	書籍・印刷物、衣服、見廻品、その他の日用品	全国	4, 5, 9	
						宅配便	東北、関東地方	4, 5	
その他		2	11	9					

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県、九州は沖縄を含む)]単位である。なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2 . 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 809 社 / 調査対象事業者数 1,051 社）の輸送量は、前月比 98.4%、前年同月比 101.7%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全国	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
前月比	98.4%	104.0%	97.8%	94.3%	96.6%	94.8%	95.1%	95.9%	96.9%	97.8%	109.1%
前年同月比	101.7%	109.0%	94.1%	96.5%	103.8%	97.4%	101.4%	103.6%	98.1%	101.9%	107.7%

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、対前月比104.0%、対前年同月比109.0%であった。品目別には、季節的需要増等により「セメント」の輸送量が増加したほか、工場・生産地からの貨物増等により「動植物性飼・肥料」の輸送量にも増加がみられた。一方、季節的需要減等により「木材」、「揮発油」、「その他の石油製品」の輸送量が減少したほか、工場・生産地からの貨物減等により「石炭」の輸送量にも減少がみられた。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送は、対前月比97.8%、対前年同月比94.1%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「鉄鋼」の輸送量が増加したほか、輸出入増等により「紙・パルプ」の輸送量にも増加がみられた。一方、倉庫への入出庫減等により「穀物」の輸送量が減少したほか、工場・生産地からの貨物減等により「工業用非金属鉱物」の輸送量にも減少がみられた。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、対前月比94.3%、対前年同月比は96.5%であった。品目別には、季節的需要増により「野菜・果物」の輸送量が増加した。一方、倉庫への入出庫減等により「紙・パルプ」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送は、対前月比96.6%、対前年同月比は103.8%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増により「木材」の輸送量が増加した。一方、建設関連の需要減等により「砂利・砂・石材」、「セメント」の輸送量が減少したほか、商社・問屋からの貨物減等により「揮発油」、「その他の石油製品」の輸送量にも減少がみられた。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに横這い傾向と予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、対前月比94.8%、対前年同月比は97.4%であった。品目別には、季節的需要増により「野菜・果物」の輸送量が増加したほか、工場・生産地からの貨物増により「紙・パルプ」の輸送量にも増加がみられた。一方、季節的需要減により「砂利・砂・石材」、「金属製品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比95.1%、対前年同月比は101.4%であった。品目別には、建設関連の需要減等により「金属製品」の輸送量が減少したほか、工場・生産地からの貨物減等により「その他の製造工業品」の輸送量にも減少がみられた。本月は、大型連休の影響により、輸送量は対前月比減となっているが、このような中で「畜産品」、「廃棄物」の輸送量には増加がみられている。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送は、対前月比95.9%、対前年同月比は103.6%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」、「食料工業品」の輸送量が増加した。一方、建設関連の需要減等により「砂利・砂・石材」、「セメント」等の輸送量が減少したほか、工場・生産地からの貨物減等により「鉄鋼」、「その他の化学工業品」等の輸送量にも減少がみられた。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比96.9%、対前年同月比は98.1%であった。品目別には、大型連休に伴う季節的需要増等により「食料工業品」の輸送量が増加したほか、デパート・スーパーからの貨物増等により「日用品」の輸送量にも増加がみられた。一方、「野菜・果物」のほか、工業関連品等の輸送量が軒並み減少しており、全体として貨物の動きが減少している。今後の輸送見通しは、次月以降ほぼ横這いか若干の増加傾向と予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比97.8%、対前年同月比は101.9%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」、「食料工業品」の輸送量が増加した。一方、建設関連の需要減等により「砂利・砂・石材」、「鉄鋼」、「金属製品」、「セメント」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、対前月比109.1%、対前年同月比は107.7%であった。品目別には、季節的需要減による「取り合わせ品」のほか、「金属くず」の輸送量に減少がみられたが、「水産品」、「木材」、「日用品」の輸送量に増加がみられ、全体的な輸送量は増加している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況(対前月比)

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局	北	東	関	北	中	近	中	四	九	沖	全
		海	海	東	東	陸	部	畿	国	国	州	縄	国
		道	道	北	東	信	越	畿	国	国	州	縄	計
1. 穀物	増	1							1				2
	減	1	2			1		1			1		6
2. 野菜・果物	増		1	1	1	1	1		3		6		13
	減	1	1			1				2	2		7
3. その他の農産品	増										2		2
	減	1									3		4
4. 畜産品	増	1	1					1	1		1		5
	減												
5. 水産品	増	1					1					1	3
	減		2								1		3
6. 木材	増	2				1						1	4
	減	5	2						1		1		9
7. 薪炭	増												
	減												
8. 石炭	増					1					1		2
	減	2	1										3
9. 金属鉱物	増												
	減		1										1
10. 砂利・砂・石材	増	11	1			1					2		15
	減	7	1			2	1	1	2		4		18
11. 工業用非金属鉱物	増	1											1
	減		2			1			1	1	1		6
12. 鉄鋼	増		2			2			3		1		8
	減	1						1	4		3		9
13. 非鉄金属	増												
	減							1					1
14. 金属製品	増	1						1	4		1		7
	減		1			1	1	2	4		3	1	13
15. 機械	増		1	2			1	1	1	1	2		9
	減	1	1	2			3	2	3		2		14
16. セメント	増	4				1	1		1		1		8
	減		1			2	1		3	1	6		14
17. その他の窯業品	増		1								2		3
	減					1			2	1	3		7

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
		18. 揮発油	増	1			1					
	減	3			2				1			6
19. その他の石油製品	増	1								1		2
	減	3	1	1	2			2	1	2		12
20. コークス・ その他の石炭製品	増											
	減				1							1
21. 化学薬品	増		1					1				2
	減						2	1	1			4
22. 化学肥料	増	2	1					1		2		6
	減	1	1		1					1		4
23. その他の化学工業品	増					1		2				3
	減						1	4		2		7
24. 紙・パルプ	増	1	4			1		1		2		9
	減	1		2	1		1	1	1	1		8
25. 繊維工業品	増									1		1
	減							1	1			2
26. 食料工業品	増	1	2		1		1	8	4	2	1	20
	減	1	3				3	5	2	1	1	16
27. 日用品	増	1	1			1			2	1	1	7
	減	1			1	1		1		1		5
28. その他の製造工業品	増						1			1		2
	減		1				2	2				5
29. 金属くず	増											
	減										1	1
30. その他のくずもの	増									1		1
	減							1				1
31. 動植物性飼・肥料	増	4	2							2		8
	減	1	1							2		4
32. 廃棄物	増	1		1			1	1				4
	減	1	1	1						1		4
33. 輸送用容器	増	1						1				2
	減				2	1						3
34. 取り合せ品	増		1					1			1	3
	減	3	1	1		2		1		2	2	12
35. その他	増			2	2		2	1	1	1		9
	減	1	4	3	3	6	2	1		5		25